



前県議員

き さ き

木佐木 ただまさ

日本共産党
見解を紹介します

news

Profile

- ・1984年山口県出身
- ・鶴見区馬場在住、神奈川大学法学部卒、横浜健康友の会会長、横浜東民商顧問

小池晃さん迎えた決起集会に160人 来年の地方選 県市ダブル当選を！

10月16日、小池晃書記局長を迎えて、もう半年後に迫った地方選挙に向けた鶴見区後援会の決起集会が行われました。160人を超える参加者で用意した資料が足りないほどの大盛況でした。参院選で大奮闘をしたあさか由香さんも参加し、参院選での悔しさを地方選挙で必ず晴らすと意気込みを語ってくれました。

私も、この4年間社会的に様々な困難が迫ってきたにもかかわらず、議員として活動できなかった悔しさ、共産党以外の会派がなんでも賛成のノーチェック県議会に住民の願いに寄り添える正義の議席が必要だとの思いを決意としてお話ししました。必ず県会議席を獲得するために力を尽くします。



左から、きさき、小池、古谷、あさか



10.10 決起集会 会場いっぱいの参加者

県議会で問題はらむ議案が可決 共産党は反対し、討論

10月14日、県議会で議案の採決が行われ、共産党県議団は18議案のうち5議案に反対しました。日本共産党が反対した議案の1つは、県営住宅の建て替えをPFI方式で行うというものです。PFIとは、公共施設を民間事業者が建設・維持管理・運営などを行う手法で、公共施設の運営で利益をだすために、サービス削減や人件費などのコストカットが進められる危険性があります。実際、今回の議案にある県営上溝団地(相模原市中央区)は建て替え前に比べて約100戸減少することになっています。

もう一つ反対した議案は、葉山港(葉山町)の指定管理者として「湘南サニーサイドマリーナ」を指定するものです。この事業者は、過去に別の港で条例違反を繰り返し、行政指導を受け、行政罰として「過怠金」も課せられました。ところが県はこれらの問題を「重大な事故や不祥事にはあたらない」として外部評価委員会に共有しておらず、この事業者の評価は高くなっています。利用団体からは、指定



14日県議会の後の報告会にて 党県議と予定候補者

管理者の再考を求める意見が出されるなどしています。

これら重大な問題を含む議案について、共産党県議団は反対を主張しましたが、他主要会派は軒並み賛成し、すべて可決となりました。公正なチェックと地元住民の声に耳を傾けられない議会に正義はありません。改めて、住民の目線で行政をチェックするために県議会に戻らなければと決意しています。